

百舌鳥古墳群 (もずこふんぐん)



写真出典：平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P48 堺市教育委員会

百舌鳥古墳群(もずこふんぐん)は、堺の市内で東西・南北約4キロメートルにも広がる古墳群です。古墳時代、このあたりには100基を超(こ)える古墳がつくられました。都市化の発達などにより多くが失われました。現在仁徳天皇陵古墳(にんとくてんのうりょうこふん)をはじめ、47基がまだ残っており、百舌鳥・古市古墳群(もず・ふるいちこふんぐん)は世界文化遺産(せかいぶんかいさん)への登録をめざしています。

Q. どんな古墳があるの？

A. 世界三大墳墓(せかいさんだいふんぼ)とされる仁徳天皇陵古墳(にんとくてんのうりょうこふん)をはじめ、日本で3番目に大きい履中天皇陵古墳(りちゅうてんのうりょうこふん)、8番目に大きいニサンザイ古墳などがあるよ。

世界三大墳墓は、仁徳天皇陵古墳のほか、エジプトのクフ王のピラミッド、中国の秦(しん)の始皇帝陵(しこうていりょう)があるよ。とても有名なんだよ。

Q. 世界文化遺産登録ってなに？

A. 百舌鳥古墳群(もずこふんぐん)は、羽曳野市(はびきのし)・藤井寺市(ふじいでらし)の古市古墳群(ふるいちこふんぐん)とっしよに、世界文化遺産登録に向けて大阪府全体で取り組んでいるよ。

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

<http://www.city.sakai.lg.jp/hakubutu/ninhya.html>

http://www.city.sakai.lg.jp/city/_rekibun/mozu/index.html

平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P47-49 堺市教育委員会